

郷土しりょうかん

わたりちょうりつきょうどしりょうかん
亶理町立郷土資料館

〒989-2351 亶理郡亶理町字西郷 140

Tel 0223-34-8701 Fax 0223-34-8709

E-mail kyoudo@town.watari.miyagi.jp



年中行事講座「お餅をついて団子さしをしよう」の様子
豊作になりますように

次号の「郷土しりょうかん」は、4月に発行する予定です。
郷土資料館、図書館、各公共施設の窓口にお置きますのでご覧ください。



テーマ展「子どもたちと教科書」開催中

子どもたちは、学校の授業の教材である教科書を通じて、さまざまな知識と知恵を学びます。また、教科書は時代とともに移り変わってきており、時代背景を知るための資料にもなります。郷土資料館には明治時代から昭和30年代までの教科書が100点以上あり、ひとつのコレクションになっています。今回の展示では、郷土資料館に収蔵している教科書を中心に、教科書の移り変わりとその時代背景について考え、子どもたちのくらしの移り変わりについてみていきます。今回は展示した写真の中から3点を紹介します。



小学修身書 明治14年

木戸麟が編纂した修身科の教科書で、明治17年まで出版され、累計で300万部を超えるベストセラーとなりました。修身とは現在の道徳にあたる科目です。これは鹿島小学校(昭和47年、亘理小学校に統合)で使われたものです。

ヨミカター 昭和16年

文部省が著作した国民学校初等科(現在の小学校)1年生国語科の教科書です。はじめのほうに「アカイ アカイ アサヒ アサヒ」と書かれているところから「アサヒ読本」とも呼ばれています。これは長瀬国民学校(現在の長瀬小学校)で使われたものです。



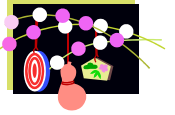
昭和21年の教科書

太平洋戦争終戦の翌年に印刷された国民学校初等科6年生の教科書です。終戦直後はさまざまなものが不足していて、粗末な紙に黒インクのみで印刷しました。絵や写真などもなく、また、紙の質も悪くボロボロになるため古い教科書の表紙で補強するなどして使っていました。



この展示は3月20日(土)まで開催しています。ぜひ、ご家族でご観覧ください。

お餅について団子さしをしました



1月9日(土)に、家庭教育支援基盤形成事業の一環として、小正月行事の団子の木作りを行いました。

参加した親子11組27人は、講師の荒浜婦人会長の濱野かじ子さんから小正月行事のお話を聞いた後、同じ婦人会の阿部

みや子さんと橋本かつ子さんに教わりながら、豊作への願いを込めて紅白の餅を小さく切って丸めたものをミズキにさし、飾りをつけて団子の木を作りました。

自分の分だけではなく、悠里館1階に飾るための大きな団子の木も参加者の皆さんが協力して仕上げました。

その後、臼と杵での餅つきを体験し、きな粉餅にして試食しながら、婦人会の皆さんから昔の小正月の様子や子どもの遊びについて教えていただきました。皆さんは、団子の木の出来映えと、つきたてのお餅のやわらかさとおいしさに大満足の様子でした。



開館 15 周年
記念講座

「ものしい大学院」開講！

郷土の歴史と文化を学ぶ基礎知識を伝えるために開催してきた「ものしり大学院」も、今年で7回目を迎えます！今回は、身近にある歴史と文化、自然をあらためてとらえなおし、「郷土の歴史と文化」について学びます。

亘理町史編纂にもご協力いただいております、第一線で活躍されている専門家を講師にお招きします。この機会にぜひご聴講ください。

第1回 3月6日(土)	テーマ「郷土史」 講師：仙台郷土研究会 副会長 吉岡一男氏 郷土史とはなにか、郷土史との接し方などを学びます。
第2回 3月20日(土)	テーマ「自然」 講師：日本野鳥の会 宮城県支部長 竹丸勝朗氏 亘理町史「自然編」編纂のための調査結果をもとに、鳥の海の自然や亘理町に生息する野鳥を取り上げ、亘理町の自然について考えます。
第3回 3月27日(土)	テーマ「民俗学」 講師：みちのく民俗文化研究所 代表 岩崎真幸氏 亘理町史「民俗編」編纂のための民俗調査をもとに、亘理町の民俗や民俗学のおもしろさについて学びます。

会場：悠里館3階 図書館視聴覚ホール

時間：午後1時30分～午後3時30分

*聴講は無料です。事前申し込みは不要ですので、直接会場にお越しください。



郷土資料館カレンダー

2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2 テーマ 展初日	3	4	5	6
7	8	9	10	11 建国記 念の日	12	13
14 おひな さまを 作ろう	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26 資料 整理日	27
28						



3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6 ものし り大学 院
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20 テーマ展 最終日・も のしり大 学院
21 春分の 日	22	23	24	25	26 資料 整理日	27 ものし り大学 院
28	29	30	31			

開館時間 9:00~16:30 (入館は16:00まで)

は休館日

どこでもパスポート以外のパスポート利用日

利用状況

Thankyou

Thankyou

Thankyou

Thankyou

Thankyou

H21.12.1 ~ H22.1.31

常設展

資料館を開館した日..... 4 4日間

観覧者数

個人..... 239人

団体..... 101人

合計..... 340人(1日平均8人)

どこでもパスポート利用者

利用日数..... 4 4日

利用者数

町内..... 54人

町外..... 21人

合計..... 75人 (利用日平均2人)

おわりに



3月3日は「上巳」「桃の節句」などと言われ、雛人形を飾り、女の子の健やかな成長と幸せを願う「雛祭り」の日です。愛らしい人形とともに供えられる色とりどりの飾り物を眺めたり、食べたりするのも楽しみの一つです。

飾り物とその色にはそれぞれ、意味があります。「桃の花」は厄除けになり、「お白酒」は体から邪気を祓うとされます。「ひし餅」の形は人の心臓をかたどったもので、「雛あられ」にも見られる白・青・桃の3色は、それぞれ『雪の大地(白)』『木々の芽吹き(青)』『生命(桃)』を表しています。この3色のお菓子を食すことで自然のエネルギーを授かり、子どもたちが健やかに成長できるという意味があります。子どもの健康を祈る親の気持ちが表れていますね。

郷土資料館では、2月にちりめんで雛人形を作る講座を行うほか、3月14日まで常設展示室に「巨理伊達家の雛人形」を展示しています。こうした機会を利用して、あらめて雛祭りについて学んでみませんか。